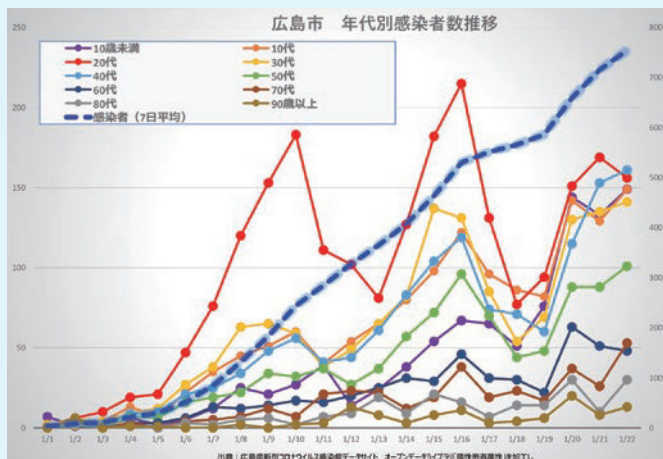




むらた ひろひこ
広島共立病院 院長 村田 裕彦

オミクロンの波に飲み込まれつつ

年明けと共に爆発的に拡大しているオミクロン株。正月気分はすぐに吹っ飛び、広島市の新規感染者はどんどん増えて1月22日には千人を超えました。広島市の年代別グラフをみると全年代で増加しており、1週間の移動平均(青色破線)では報告曜日の要素がなくなり、着実に増加していることがわかります。



全国に先駆けて感染者が増えた沖縄県、山口県、広島県には1月9日からまん延防止等重点措置が適用されました。沖縄県、山口県、広島県の感染が米軍基地由来ということが判明し、悔しい思いをされた方も多いのではないのでしょうか。その後、第6波は全国に波及し、1月21日からまん延防止等重点措置が16都県に拡大し、さらに全国に拡大していく勢いです。

広島県の医療提供体制は、1月21日から「緊急フェーズI」(旧フェーズ4)になりました。このフェーズは「直近7日間の10万人あたり新規感染者数25人以上(または3週間後に病床利用率50%が予測)」される段階で、確保病床が806床になる予定です。当院は次のフェーズである「緊急フェーズII」(旧フェーズ5)

で入院受け入れを開始することとなっておりますので、スタンバイしております。

当院では第1波から第5波までは職員の感染者はおりませんでしたが、今回の第6波では経験することになりました。濃厚接触者も増えつつあり職員の就業制限による医療体制の縮小も現実味が帯びてきました。まさにオミクロン株の大きな波に飲み込まれつつあるという実感です。これだけ陽性者が多いと、「隣の人が陽性者」と思わないと感染対策に穴が生じます。オミクロン株の感染性は未知数ですので、職員や入院患者さんは濃厚接触者に該当しなくても、接触者の追跡検査を行い厳重なフォローを行っています。全国的にはこれから増加の一途ですが、先行した広島が早々に収束していくことを願っております。

2月からは3回目のワクチン接種が本格化し、通常診療、発熱患者対応と医療機関にとっては試練の時が続きます。最近、「ロシア風邪」(1889～1895年)のコロナ説が登場しておりますが、現代の新型コロナウイルスが弱毒変異し風邪のウイルスになって行くまで踏ん張るしかありません。皆様、健康に留意してこの難局を切り抜けて参りましょう。

最後に、今年の医師体制を少し紹介しておきます。4月から待望の循環器内科医師が着任される予定です。少し縮小していた循環器医療ですが、復活できると期待しております。その他の科では大学医局の人事異動があると思っておりますので、次号で詳しく報告させていただきます。研修の分野では、卒後臨床研修医が3名フルマッチしておりますので、国家試験に合格すれば3名で研修が始まります。総合診療科では2名の専攻医が新たに専門研修を開始する予定です。若い風、新しい力で病院がさらに活性化することを期待しております。

第106回 広島共立病院オープンカンファレンス 広島共立病院 & Web配信

第54回 特別講演

開催日

2021年12月1日(水)

座長

むらた ひろひこ
広島共立病院 院長 **村田 裕彦**



「今一度見なおすバイタルサイン～COVID-19の経験もふまえて～」

しめ のぶろう
広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 **志馬 伸朗** 医師



バイタルサインの重要性は臨床現場において繰り返し指摘されてきたが、未だにその評価と活用に関して見なおすべき点が残っている。特に急性期患者における適正使用は、患者生命予後と直接結びつく重要な問題である。

今回の講演では、まず救急集中治療領域を中心とした急性期医療の現場におけるバイタルサインの基礎を復習した。そののちに、2020年2月以降流行を続けている

COVID-19を例にとり、診療におけるバイタルサインの活用について、最新の知見を含めて考えた。



「院内急変対応システム(rapid response system, RRS)について」

おおた こうへい
広島大学病院高度救命救急センター講師 **太田 浩平** 医師



Rapid Response System (以下、RRS)とは、入院患者の心停止など重大な有害事象の前兆を早期発見して介入に繋げる、医療安全の質向上を目指した取り組みである。米国の5 Million Lives Campaignに端を発し、本邦でも医療安全全国共同行動の目標にRRSの確立と導入が挙げられている。

院内心停止患者の予後は20年以上改善しておらず、従来のコードブルーと呼ばれる死に瀕した状態での介入は不成功と言える。バイタルサインの異常など前兆を逃さず早期介入することで院内心停止を「防ぐ」、RRSの

コンセプトを正しく理解して院内システムを構築することが全ての病院に求められている。



第107回 広島共立病院オープンカンファレンス 広島共立病院 & Web配信

第53回 安川河畔カンファレンス

開催日

2021年12月8日(水)

座長

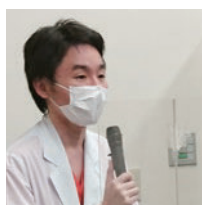
広島共立病院 診療部長

ウォン・トーユン 医師



くぼた ようへい
広島共立病院 久保田 洋平 医師

「当院での下部消化管内視鏡診療」



大腸癌は罹患率・死亡率とも年々増加している。しかし5年生存率は全癌患者の平均を上回っているため早期発見・治療が望ましい。当院では毎年1万件以上の便潜血と1,500件以上の大腸内視鏡検査を施行している。消化器内科は治療にも積極的に取り組みEMRや大腸ステントを留置している。大腸ステントはBSCの患者に有効な治療であるのみならず、BTSの患者にも有用である。2014年から2019年にステント留置を行った20症例を検討した。

2014-2019年に当院でステント留置を行った20症例の検討

【患者背景】

年齢(歳)	74歳(53-101歳)
性別(男/女)	13件/7件
疾患・悪性腫瘍 ・憩室炎	19件 1件
狭窄部位・横行結腸 ・下行結腸 ・S状結腸 ・直腸	3件(15%) 4件(20%) 6件(30%) 7件(35%)
iStage・Stage II ・Stage IIIa~IIIb ・Stage IV	5件 7件 7件
目的・BTS ・BSC	14件 6件

「リハビリテーション医療と障がい者スポーツ ～パラリンピック活動報告を交えて～」



障がい者だけでなく、障がいを持たない者にとってもスポーツ参加は大きな意義を持つが、障がい者のスポーツ実施率が非常に低いことが報告されている。「活動を育む」医学であるリハビリテーション医学において、社会参加の一環としてのスポーツを啓発することもリハビリテーション医療の範疇である。ヒトの生活を包括的に評価するICFの概念に触れつつ、パラリンピックメディカルスタッフとして参加した所感をふまえて発表する。

いぐち こうすけ
広島共立病院 リハビリテーション科医長 井口 紘輔 医師

救急搬送練習



「化学療法が著効した大腸癌長期生存例」

おたがき すなお ながみね いちろう ふるかわ たかおき ひらおか えみこ くらおか のりまさ
広島共立病院 大田垣 純、長嶺 一郎、古川 高意、平岡 恵美子、倉岡 憲正 医師



近年大腸癌に対する化学療法は著しく進歩し、化学療法を行わない場合の切除不能再発大腸癌の生存期間中央値(MST: median survival time)は約8か月とされていますが、化学療法を行った場合のMSTは約30か月を超えるまで延長してきています。大腸癌に使用できる薬剤も増えていて、2019年に改定された大腸がん治療ガイドラインに基づいた治療法の選択について説明を行い、実際当院で治療し良好な治療結果が得られ、長期間生存した症例を提示する。

大腸がん化学療法に用いる薬剤

殺細胞性抗癌薬

1. 5-FU製剤: UFT, TS-1, Cape, 5FUなど
2. オキサリプラチン (白金製剤)
3. イリノテカン (抗腫瘍性アルカロイド)
4. FTD/TPI (ロンサーフ)

分子標的治療薬

1. 抗腫瘍血管増殖因子受容体抗体: ベバシマブ
2. 抗血管内皮増殖因子受容体-2抗体: ラムシムブ
3. 血管内皮細胞増殖因子阻害剤: アフリベルセプト
4. 抗上皮増殖因子受容体抗体: パニツマブ、セツキシマブなど
RAS/BRAF遺伝子野生型のみ有効
5. マルチキナーゼ阻害剤: レゴラフェニブ
免疫チェックポイント阻害剤 (抗PD-1抗体)

診療案内(2022年2月版)

予約制 は事前予約が必要です。
予約可 は予約なしでも受診可能です。

※第2・第4土曜日は休診です。

	診察開始～受付終了	専門外来等	月	火	水	木	金	土	
健診	市・被爆者・協会けんぽ等 各種健診、人間ドック他 ⑩乳がん検診	午前 予約制	桑原 中増	桑原 ⑩川口	桑原・中増 ⑩木村(ま)	桑原 ⑩川口	桑原 中増	1・3・5週 酒井・中増 ⑩1週 木村(ま)	
		午後 予約制	桑原・中増	⑩川口	桑原・中増	桑原 ⑩川口	中増		
内科 (当院に初めて 受診される方は 予約制では ありません)	9:00～11:30	総合診療内科 予約可	山田・酒井 亀谷	吉國・酒井 山田	橋本・山田 酒井	藤原・久保田 吉國・舟木(洋)	山田・橋本 藤原	1・3・5週 鷹屋・山田・吉國・橋本	
		循環器内科 予約制	鷹屋・伊藤		鷹屋・村田		村田		
		呼吸器内科 予約制		濱田					
		消化器内科 予約制		加太		吉見	西原	ウォン	1・3・5週 ウォン・久保田
		糖尿病内科 予約制	森下		森下		福井	森下	1・3・5週 森下
	14:00～16:30	予約制		藤原・大谷					
		リウマチ科 予約制		大谷		舟木(将)	秦		
		循環器内科 予約制					鷹屋		
		呼吸器内科 予約制					2・4週 木山		
		消化器内科 予約制					西原		
17:00～18:30 (定期通院されている 予約の方のみ)	糖尿病内科 予約制					森下			
緩和ケア内科	9:00～11:30	予約制	本家	舟木(洋)	本家	本家	加太		
脳神経内科	9:00～11:30/14:00～16:30	予約制	祢津						
精神科	9:00～11:30	予約制				山本			
リハビリテーション科	9:00～11:30	○理学・作業・言語・ 物理の各療法 予約制	○	○	○	井口 ○	○	1・3・5週 ○	
	13:30～16:30		○	○	○	○	○		
外科	9:00～11:30	予約可	大田垣 古川 平岡	長嶺 倉岡	平岡	大田垣 倉岡	長嶺 古川 平岡	1週 長嶺・倉岡 3週 古川・平岡・大田垣 5週 交替	
乳腺外科	14:00～16:30	予約可					舛本		
心臓血管外科	14:00～16:30	予約可				片山/高崎 交替			
脳外科	14:00～16:30	予約制					岡崎		
整形外科	9:00～11:30	予約可	市川・土井 濱西	田中 森	森 横田	市川・田中 濱西	田中 土井	1週 土井・濱西(市川) 3週 田中・森 5週 市川・濱西	
	16:00～18:30	予約可		1・3・5週 市川 2・4週 濱西 土井		森 古田			
小児科	9:00～11:30	☐ 小児一般 予約制	☐ 友田	☐ 森下	☐ 友田	☐ 森下	☐ 友田	☐ 1・3・5週 森下	
	14:00～15:00	☐ 予防接種 予約制	14:00～14:30 田森下		☐ 14:00～16:30 1・3・5週 森下 2・4週 友田	14:00～14:30 田友田	☐ 15:00～16:30 田森下		
	15:00～16:30	☐ 乳児健診 予約制	15:00～16:30 田森下						
	12:30～17:00	カウンセリング 予約制	津森・芳西			津森・芳西	津森・芳西		
眼科	9:00～11:30	予約可	皆本	高本		小松			
泌尿器科	9:00～11:30	月・木は10:00～ 予約可	広島大学		山崎	広島大学	山崎	1・3・5週 広島大学	
	14:00～16:30	予約可	広島大学		山崎	広島大学		↑午前休診の場合あり	
耳鼻いんこう科	9:00～11:30	予約可	大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	1・3・5週 大橋	
	15:00～16:30	予約可	大橋			大橋	大橋	↑午前休診の場合あり	
皮膚科	9:00～11:30	予約可	稲束	稲束	稲束		稲束	1・3・5週 稲束	
	14:00～15:00							↑午前休診の場合あり	
婦人科	9:00～11:30	初診(再診) 予約可	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	1・3・5週 三田尾	
	14:00～16:00	子宮がん検診 予約制	三田尾	三田尾		三田尾		↑午前休診の場合あり	

地域連携部だより

2022年を迎えたと同時に、これまでにない新型コロナウイルスの感染拡大を生じ、地域の医療機関の皆様方におかれましても、安定しない日々をお過ごしかと存じます。

引き続き、地域医療に即した役割が発揮できるよう、みなさまの声を傾聴し、努力して参る所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携センター 地域連携部
直通ダイヤル ☎ 082-879-1203



広島医療生活協同組合

広島共立病院

HIROSHIMA KYORITSU HOSPITAL

<https://www.hiroshimairyu.or.jp>

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20

TEL 082-879-1111(代)

FAX 082-879-6964

E-mail kyoritsu@hiroshimairyu.or.jp

